



●Tackle Guide
落とし込みサビキは船宿仕掛けを買えば間違いない。竿はアジシ用と、落とし込み用のムーチンタイプが竿があれば万全だが、ピシアジ竿を落とし込みで使う場合は、仕掛けの上に3ミリ径50センチほどのクッションゴムを付けると食い込みがよくなる。

75メートルに到着。指示ダナは同じく海底より5メートル。ここもデカアジがメインなので、ほとんどの方がピシアジ仕掛けを下ろしたが、「左トモが泳がせて食わせたぞお」と声が上がったので駆け付けると、佐々木さんが竿を満月にしてバトルの最中。慣れたヤリトリでグイグイ



▲アジは30~40センチ級の良型ぞろい、10尾もあればお土産は十分

前半は良型アジで肩慣らし 後半は激アジの落とし込み

◎三浦半島葉山あぶすり港発↓葉山→三戸浜沖 本誌ABC(東京)鈴木良和 Yoshikazu Suzuki

アジを釣ってお土産を確保したら、落とし込みサビキで青物やヒラメなども楽しめるという欲張りな釣りメニューで出船しているのが三浦半島葉山あぶすり港の愛正丸だ。以前、同宿のこの釣りで、取り込み目前でワラサをバラ

した私は、リベンジを兼ねて12月下旬に釣行した。準備が整ったところで10名を乗せて7時に出船し、最初のポイントの秋谷沖に15分ほど到着。「水深13メートル。タナは底から5メートルです」と飯田

船長から開始の合図が出た。ここはピシアジ仕掛けのデカアジ狙いで、「こまめに仕掛けを入れ直してコマセを振って」と船長が激を飛ばす。アジ釣りはコマセを振って船にアジを寄せなくては勝負にならない。そのためコマセ振りには全員の共同作業だ。ほどなくして右トモ2番の龍沢さんがアタリをとらえて巻き上げを開始したが、フーストヒットはゴマサバだった。

アタれば良型
しかしこのサバが誘い水となったのか、直後に左トモの佐々木さんが35センチのアジを取り込んだかと思えば、左ミヨシ2番の清野さんがアジをダブルで抜き上げる。するとその隣の鈴木さんも40センチ近いアジを上げてニ

ッコリ。右舷では釣友の埴さんがアジとサバを一荷で取り込み、「今日はアジを持っていくところが多いからガンガン釣りますよ」とやる気満々。

8時を回るころには入れ食い状態になり、サイズも30~40センチ級の良型ぞろいと申し分ない。しかし、サバも果敢にヒットしてきてオマツリが頻発し思うようには数のがびない。

船長によると、ここはクロムツもいるポイントなのだが、姿を現さないのは潮が澄みすぎているのが原因らしい。9時40分過ぎ、写真撮りの合間に私も参戦。着底後、何度か底ダチを確認して糸フケを取り、2.5メートル巻き上げたところで最初のコマセをまいて一呼吸置いた後、指示ダナまでシャクリ上げるとコソコソときた。

そのまま巻き上げるとゲンゲン引く。上がってきたのは36センチのアジ。サイズがいいから引き味も満点だ。次投も35センチを上げ、その次こそサバにつかまったも

落とし込まない!

は初めて見た。よほど腹が減っていたのかもしれない。その後1時間ほど粘ったものの、泳がせ組は後が続かず、アジの食いも今一つ。11時半過ぎになり、「落とし込みに行きますので、サビキ仕掛けにしてください」とのアナウンスが出た。30分ほど走って葉山沖の水深90メートル付近に到着。「海底から1~3メートルを探ってください。ベイトが着いたら2メートルで待つてください。」

ピシアジをやる方は海底から5メートルがタナです」とお待ちかねの落とし込みがスタート。ここのベイトの遊泳層は青物のタナと同じ底から2メートル前後。なので厳密にいえば落とし込まない。前日には8.3キロのブリや2キロのマダイも上がっており

▼泳がせてワラサを上げた佐々木さん



魚探には小魚の反応がビツ

ワクワクしながら仕掛けを投入したのだが、想定外の事態が発生。魚探には小魚の反応がビツビツと映し出されているのに、まったくサビキに食ってくれないのだ。原因が水温低下なのか潮色なのかははっきりしないが、「普通ならすぐに小魚が着いてガタガタしていると、ガツタンとワラサやヒラメがヒットするのになあ」と船長もお手上げ状態。

それでも手を休めず誘い上げると小魚のアタリがきた。指示ダナの底から2メートルに仕掛けをキープすると、ガタガタと小魚が暴れた後、ゲンゲンと引き込み、合わせを入れて巻き上げるとマトウダイが上がってきた。次投はすぐにベイトが掛かり、指示ダナに合わせた途端にギョングン激しいアタリはやる気持ちを押さえ、ギューンと絞り込まれたところ

●船宿information
三浦半島葉山あぶすり港
愛正丸
☎090-3683-0914
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=アジ五目&落とし込みリレー乗合 一人9500円(コマセ、アカタン付き)
▶備考=予約乗合、7時出船。ほか根魚五目、アマダイ、スポットでアコウダイへも

飯田 孝弘船長

知得! Tips and Tricks
落とし込みのワンポイントアドバイス

落とし込みは専用のサビキ仕掛けに小魚を掛けて待つ釣りだが、小魚が着いてもアタリがないときは、仕掛けを上げてコマセを詰め直し、再投入すると、コマセの臭いでワラサやヒラメなどを寄せる効果が高まる。その際、掛かっていたアジをいったん外し、鼻の穴にハリを刺し直すと外れにくくなる。強いアタリがきても早合合わせは禁物。グイッと竿が絞り込まれてから大きく竿を立てて合合わせを入れる。電撃合合わせはスッポ抜けの原因になるので要注意。

▶落とし込みサビキはヒラメ、青物、マダイなど多彩な魚が上がる

▶アジのタナは底から5メートルと高めを狙う

●すずき よしかず/冷蔵庫の中が臭いと女房に文句を言ったら、臭いのがエサのストックと判明。その後、わが家では地獄絵のような展開が……。